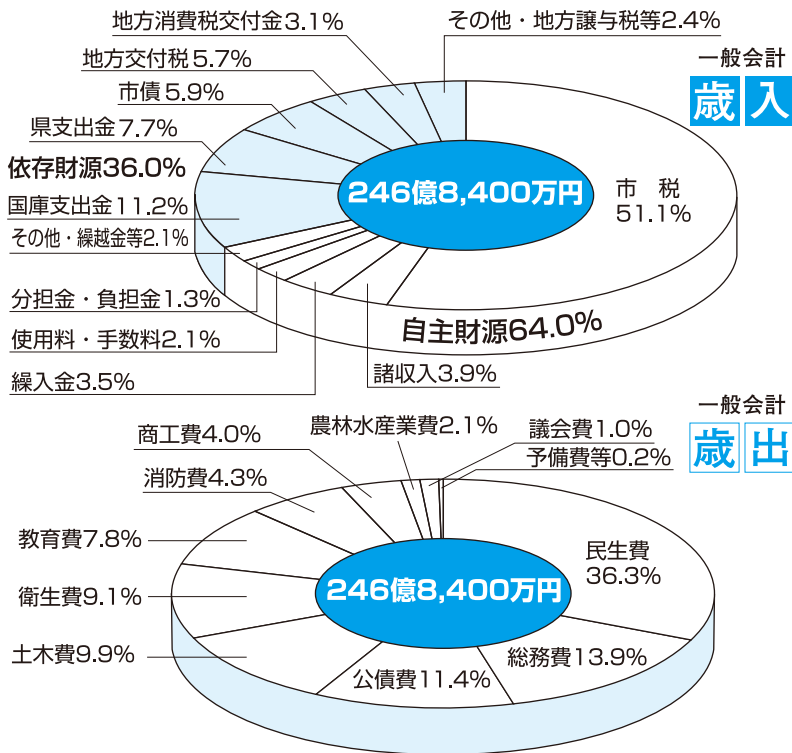


平成22年度一般会計予算 などを議決

3月定例会
議案

3月市議会定例会は、2月24日から3月18日までの23日間の会期で開き、議案44件、意見書案1件、請願1件を審議しました。

平成22年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



平成22年度予算

(単位: 万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	246億8,400	2.7%増
特別会計		
国民健康保険事業	76億1,400	0.8%減
老人保健	620	89.7%減
介護保険事業	47億6,980	2.1%増
後期高齢者医療事業	14億1,380	8.0%増
モーターボート競走事業	1,236億2,000	3.5%増
土地区画整理事業	21億2,370	1.4%増
公共用地対策事業	8,930	1.4%増
下水道事業	22億8,440	7.8%減
三谷町財産区	3,230	42.8%減
西浦町財産区	1,080	14.3%減
小計	1,419億6,430	2.9%増
企業会計		
水道		
収益的	17億 940	3.7%減
資本的	6億6,070	29.0%減
病院		
収益的	79億6,570	0.3%増
資本的	5億9,560	3.1%増
小計	109億3,140	2.6%減
合計	1,775億7,970	2.5%増

予算審査 特別委員会から

22年度一般会計予算など13会計予算は、20人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長飛田孝博、副委員長飛田常年）を設置し、審査をしました。

審査は、3月11日、12日、15日、16日の4日間にわたり、慎重に行いました。

●一般会計予算 前年度比2.7%の増

一般会計予算は総額246億8400万円、前年度比2.7%の増となっています。歳入の51.1%を占める

市税は、個人市民税4億200万円の減、法人市民税1億3900万円の減、固定資産税2000万円の減など、市税全体では4.5%減の126億790万円です。歳入全体の財源構成は、市税、繰入金、諸収入などの自主財源が64.0%、市債、国・県支出金などの依存財源が36.0%となっており、自主財源が前年度に比べ、3.7ポイント減少しました。

22年度の新規施策の主な内容については、次のとおりです。高齢者の足の確保対策として、高齢者がタクシーを利用した場合に、運賃の一部を助成し社会活動の範囲の拡大、自立更生、外出支援を図るため、1217万円が計上されました。施設の老朽化に加え、近年の低年齢児の入所希望者の増加に対応するため、南部保育園とがまごおり児童館の大規模改修に3000万円が計上されました。安全で快適な空間を創出し来場促進を図るため、老朽化した競艇施設の改修に、